

仕事と両立できますか？

介護離職

38 図解 仕事と介護の両立に**厳しい現実**
職場の実態把握は道半ば／離職予備軍は40万人？

40 **ルポ 私と介護離職** その日は突然訪れた
仕事も介護もつらい 首を吊ろうと思った／将来は母親の介護も覚悟している
首に手をかけたら妻がほほえんできた／何も情報を持たずケアマネに従った
限界を見た 専念は考えられない／休職3カ月でも無理 会社員だったら破綻

45 INTERVIEW | 森永卓郎 ● 経済アナリスト・獨協大学教授

48 **チェックシートでわかる！ あなたの離職危機度**

50 **転ばぬ先の杖 7つの鉄則**
"何でも相談所"の扉をたたく／要介護の認定を受ける／ケアマネと信頼関係を築く
介護休業を正しく活用する／全額自己負担に気をつける
サービス利用の選択肢を増やす／介護は在宅だけではない

54 介護の"達人"に聞く**両立のコツ**

56 平日2時間、休日5時間？ **介護離職のボーダーライン**

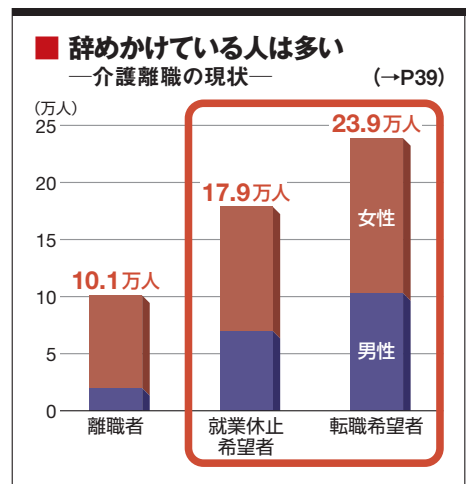
57 INTERVIEW | 矢島洋子 ● 三菱UFJリサーチ&コンサルティング主席研究員
「家族介護者のかかわり方を見直していく必要がある」

58 **3タイプで解説！ 介護にかかるお金の話**
① 親が遠方で1人暮らし ② 母娘が自宅で同居 ③ サ高住に入居

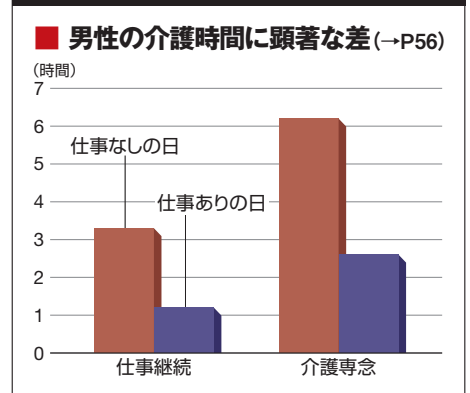
61 **変わる企業の介護支援**
ゴールドマン・サックス NEC 大和ハウス工業 日立ソリューションズ 丸紅 三菱重工業

64 **最新ランキング 介護休業取得者数の多い企業はココだ！**

66 老人ホームの**選び方 悪質な施設**に気をつける



森永卓郎 45
経済アナリスト・獨協大学教授
「父は要介護4 リハビリ"中断"が本当に痛かった」



- 9 | 経済を見る眼 | 「一億総活躍」は兼業の促進で／柳川範之
- 11 | この人に聞く | 栗山年弘 ● アルプス電気社長 | 車載、スマホ向けで復活
- 35 | 少数異見 | 圓歌師匠が教えてくれる高齢化社会の行く末

深層レポート

114 デルの乾坤一擲 8兆円買収の成算



米ストレージ大手EMCをIT業界過去最大の約8兆円で買収する。直販PCメーカーとして一世を風靡したデルは、どこへ向かおうとしているのか。

- 98 | ゴルフざんまい | 上達するには自分の形を持って／青木 功
- 120 | 知の技法 | 実学重視の教育が日本を衰退させる②／佐藤 優
- 122 | 中国動態 | 南シナ海対立が示す中国の窮地と日本の限界／小原凡司
- 124 | グローバルアイ | 米国はシリアに対するスタンスを明確にせよ／クリストファー・ヒル ほか
- 126 | フォーカス政治 | どうなる野党勢力の結集 再編ゲームより中身で勝負を／星 浩
- 128 | 株式観測 | 絶好調の米雇用統計で年末利上げはほぼ確実に／重見吉徳
- 130 | 為替観測 | ECBの追加緩和でユーロ安が一段進行／門田真一郎
- 132 | 投資の視点 | 営業益進捗率 | 進捗率が高い場合でも過去の実績は要チェック
- 134 | マクロウォッチ | 欧州に100万人以上が流入 難民・移民の経済効果は？
- 136 | ブックス&トレズ | 「JAが変われば日本の農業は強くなる」を書いた杉浦宣彦氏に聞く ほか
- 142 | Readers & Editors | 読者の手紙、編集部から
- 146 | 生涯現役の人生学 | 大河ドラマ化実行委員会／童門冬二



9 経済を見る眼 柳川範之



11 この人に聞く アルプス電気社長 栗山年弘



122 中国動態 小原凡司



124 グローバルアイ クリストファー・ヒル

- PR
- 5 ビジネスアспект | ライフプラザパートナーズ／原点に挑む 乗合保険代理店の新たな決意
 - 30 立正大学 | 石橋湛山 21世紀に息づく不屈のスピリット
 - 73 ビジネスコア | アビームコンサルティング
 - 92 広告特集 | 新增設大学 社会のニーズに合わせた新設学部・研究科が続々と誕生
 - 100 創立120周年記念特別広告企画 | 未来を先取りするサステナブル経営

図表作成：小堺賢吾／杉本祐子
本誌の記事は「日経テレコン」「G-Search」「ELNET」「FACTIVA」等のデータベースに収録されており、フリーキーワードで検索、購入できます。

核心レポート

18 東芝、身内に大甘の追及 たった3億円の賠償請求



はたして3億円の賠償で終わるか。左から西田氏、田中氏、佐々木氏の東芝元社長3人

- 20 値上げ頼みの電力決算 始まった深刻な客離れ
- 22 新日鉄住金を苦しめる 中国「出血輸出」の根深さ

24 歩み寄った馬英九総統 波紋呼ぶ「一つの中国」

26 「メール便」廃止で失速 ヤマト、躓く新サービス

28 伊藤忠が首位奪取へ 非資源の収益で明暗

東洋経済創刊120年企画

国家と個人の関係を考える

68 リベラルとは何か？

リベラリズム(リベラル)の旗色がよくない。リベラリズムに可能性はあるのか。あらためて、考える。

- 70 『リベラルのことは嫌いでも、リベラリズムは嫌いにならないでください』著者が語る リベラリズムの精髓 井上達夫●東京大学教授
- 77 反安保・脱原発では永遠に自民党に勝てない 浅羽通明●著述業
- 80 日本の「リベラル派」が迷走する本当の理由 中野剛志●評論家
- 82 大統領選に見る「リベラル」嫌いの底流 渡辺 靖●慶応義塾大学教授
- 84 日中はリベラリズムを共通の価値観にできるか 梶谷 懐●神戸大学教授
- 86 自由な発想で平和を追求した石橋湛山 増田 弘●東洋英和女学院大学教授
- 88 INTERVIEW 細野豪志●民主党政調会長
- 89 漂流するリベラル言論 辰濃哲郎●ノンフィクション作家



突然降りかかった介護と仕事の両立に行き詰まる――。
アベノミクス新3本の矢に盛り込まれた「介護離職ゼロ」。
過酷な現実の前には「ゼロ目標」はむなしい響きでしかない。

本誌：前田佳子、中原美絵子、井下健悟
デザイン：新藤真実 進行管理：中島康順

仕事と両立できますか？

3人に1人が不安

介護離職

国家と個人の間を考える

リベラル とは 何か？

リベリズム(リベラル)の旗色がよくない。自由や平等を求める姿勢が、ときに無責任と批判され、外交では対話姿勢が弱腰と批判される。リベリズムに可能性はあるのか。あらためて考える。

本誌：長谷川 隆、西村豪太

デザイン：川邊玲奈 進行管理：鈴木 智

小 誌は11月15日に創刊120周年を迎えた。その歩みを象徴する人物である石橋湛山(1884-1973)は「リベラルな言論人」として紹介されることが多い。だが、このリベラルという言葉は一義的ではない。オールドリベラル

という、権力の制限や言論の自由など、政治的な自由を尊重するという意味合いが強い。これが新自由主義になると、市場の重視など経済的な性格が濃くなる。現実の政治勢力としてのリベラルは、経済的には分配を重視し、外交・安全保障ではハト派といった人たちだ。

大恐慌をきつかけに リベラルは大転換

どうしてリベラルという言葉は、こんなに多義的なのだろうか。リベリズムという思想は20世紀に入って大きく転換した。国家の役割を治安維持や外交・安全保障に限る「夜警国家」をよしとするのが19世紀のリベラルだった。だが、大恐慌(1929年)後は市場原理一辺倒で経済を運営することへの反省が高まった。公共投資や社会保障など、国家の果たす役割が再評価されたのだ。

このときリベリズムは、強力な国家が国民の生活を安定させてこそ自由が保障されるという方向に大転換した。その反動として、「大きな政府」の非効率さを見直すため70年代に生まれたのが新自由主義だ。こうした経緯を踏まえないと議論がかみ合わない。今後の政策論議をより深めるために、リベラルの歴史と現在を総点検してみよう。





50歳となった創業者のマイケル・デルCEO。2013年の非上場化に続く大きな決断を下した

ライター/アフロ

デルの乾坤一擲

8兆円買収の成算

米ストレージ大手EMCをIT業界過去最大の約8兆円で買収する。直販PCメーカーとして一世を風靡したデルは、どこへ向かおうとしているのか。

ジャーナリスト ● 大河原克行

「われわれの体は、また一回り大きくなった」――。

2015年10月20日（米国時間）から22日までの3日間、米IT大手デルの創業の地である米テキサス州オースティンで、年次イベント「DELL World 2015」が開催された。その基調講演に登壇したマイケル・デル会長兼CEOが冒頭のように切り出すと、会場のコンベンションセンターに詰めかけた約7000人の参加者からは大きな歓声が湧いた。今回の講演で最も盛り上がりを見せた瞬間だった。

同イベント開催の前週である10月12日、デルはストレージ（外部記憶装置）大手の米EMCの買収を発表。買収金額は670億ドル（約8兆円）に上り、IT業界史上最大の買収案件として話題を集めていた。

買収発表から60日間、他社より有利な提案を受け付ける「Go Shop」期間に入っており、より好条件での買収提案がなければ正式決定する。16年10月までに買収が完了する予定だ。実現すれば両社合計の売上高は800億ドル（約9・8兆円）以上となる。

今年で5回目を迎えたDELL Worldの最大の注目点は、前週に発表されたEMC買収により、デルがどう変貌するかだった。デルCEOは、「2社の統合によ

理解しておく必要がある。

デルについて多くの人が抱いているのは、「デルモデル」と呼ばれるPCの水平分業生産の仕組みを生かした直販メーカーのイメージだろう。PCメーカーという印象を抱いている人も多い。

だが、その姿はもはや過去のものだ。デルは13年に株式を非上場化し、その後業績を発表していない。そのため売上高や事業構成比などは不明だが、デル日本人の松本光吉執行役員副社長は、「グローバルの売上高では、すでにPC以外の販売比率が半分を超えた」と明かす。

「これは、ソリューションビジネスを中心とした企業へ転換し、パートナーを通じた販売が半分以上を占めていることを意味する。直販モデル、そしてPCメーカーのデルというイメージはすでに実態とは異なっている」（松本氏）

日本においてもすでに3割が販売パートナー経由の間接販売で、18年には日本における販売パートナー経由の比率を5割超に高める計画だ。

デルは07年以降、買収戦略を加速。これまで2兆円規模の買収を行ってきた経緯がある。その多くはエンタープライズ（大企業向けの）ソリューション領域のものだ。

ストレージのイコルロジック社やコンベレント社、ネットワーク構

米マイクロソフトのサティア・ナデラCEOも、デルによるEMC買収に期待を寄せた。「この買収によって、デルとマイクロソフトとの協業範囲も広がるだろう」（同氏）。

直販モデルから転換過半が間接販売に

デルはなぜ8兆円もの巨額を投じ、EMC買収に踏み切ったのか。それを検証するうえでは、まずデルおよびEMCが置かれた経営環境を

トウエアを組み合わせて、どんな新たな世界が実現されるのかについて、パートナーや顧客から多くの期待の声をもらった」と話す。

実際、ストレージの一部製品での競合を除くと、両社が補完する領域は幅広い。EMCジャパンの大塚俊彦社長は「新たなデジタル時代の幕開けに対応できる企業、唯一のエン・ド・トゥ・エンドのテクノロジーカンパニーが誕生する」と胸を張る。

デルのイベントにゲスト出演した

つて、世界屈指のエンタープライズ（法人向け）企業が誕生する。サーバー、ストレージ、仮想化、パソコン（PC）という4分野におけるリーダーینگカンパニーが誕生し、世界最大の企業に向けて進むことができる」と、買収の成果に自信を見せた。

同イベントに参加したデル日本人の平手智行社長も、「会場ではデルが持つサーバーやソフトウェアと、EMCが持つストレージとソフ